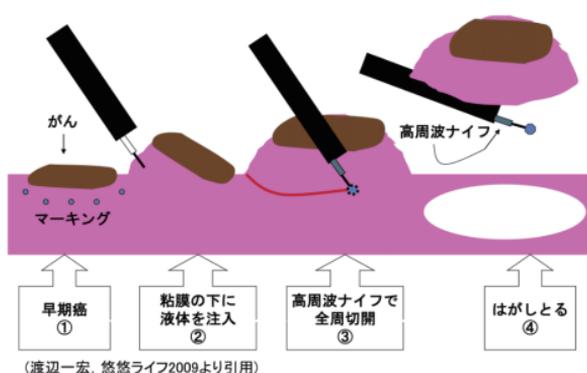


光学医療診療科は内視鏡診断・治療に特化している診療科です。スタッフは内視鏡16年以上の専門医かつ内視鏡学会評議員2名と消化器病専門医の女性医師1名のベテラン3名で構成されています。3名医師のみの当科ですが、当院において内視鏡検査・治療を数多くこなしています。対応できる疾患は食道・胃・十二指腸・小腸・大腸の内視鏡検査・治療に関わる全ての消化器疾患。検査では経鼻内視鏡、経口内視鏡(鎮静希望可)、小腸内視鏡、大腸内視鏡(鎮静希望可)など。治療では内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)で早期がんを切除し続けて14年間のキャリアがあります。特に大腸ESD治療は、日本における2012保険収載の多施設検討の参加全国69施設の1つであり、他院より治療アドバンテージを持ちます。このESD治療は年間200例程度の実績があり、炎症性腸疾患(IBD)治療も当科で治療が可能で、世田谷近郊在住の患者さんの内視鏡に関わる健康増進補助になっています。また、かかりつけ医の先生と連携を密にとることで治療を円滑に行っています。

内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic submucosal dissection ; ESD)



## staff

部長:渡邊 一宏(前列中央)

日本消化器内視鏡学会指導医、同本部評議員、同関東支部評議員、関東中央病院内視鏡学会認定施設長。

医長:湯原 宏樹(前列左)

日本消化器内視鏡学会専門医、同関東支部評議員、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会肝臓専門医。

医員:深澤 友里(前列右)

日本消化器病学会専門医。

